

東亜建設工業グループのESG経営のスタート

東亜建設工業は、“高い技術をもって社業の発展を図り、健全な経営により社会的責任を果たす(社是)”との企業理念に則り、“社会を支え、人と世界をつなぎ、未来を創る(TOA2030)”との長期ビジョンのもと、2020年度を“東亜ESG元年”と称してESG経営を推進していきます。

E(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)を念頭に置いた当社の事業活動により、受注・利益等の経済価値の創造に加えて、社会ニーズに応えることで新たな社会価値をも創造し、これにより総合的に企業価値の向上をめざします。現在における最も重要かつ喫緊の社会ニーズとして、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献します。

ESG経営の推進に当たっては、社是や長期ビジョンを踏まえて策定したESG経営に関する基本方針のもと、当社の事業において優先的に取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を特定し、各重要課題への取組み方針を“東亜ESG／SDGs行動計画”として制定しました。この行動計画に基づく取組みにより、持続可能な企業体質を構築し、当社の企業価値の向上を図りながら、事業を通じて社会の持続可能な発展に貢献していきます。

重要課題(マテリアリティ)

重要課題(マテリアリティ)の特定プロセス

東亜建設工業は、ISO26000(社会的責任に関する国際ガイドランス)が示す7つの中核主題(組織統治、人権、労働慣行、環境、公正な事業慣行、消費者課題、コミュニティへの参画およびコミュニティの発展)を念頭にCSR活動を行ってきました。この活動をベースとして、より一層の東亜らしい社会価値の創造および東亜建設工業グループの持続的成長をめざして、東亜建設工業グループの事業において優先的に取り組むべき重要課題を以下のプロセスを経て特定しました(右記に示す12課題)。

- ①課題の抽出・絞り込み

ISO26000が示す7つの中核主題およびSDGs(持続可能な開発目標)が示す17の目標などの社会的課題を踏まえ、東亜に関連する課題を抽出
- ②課題の評価

社会(ステークホルダー)にとっての重要度・関心度と、当社経営にとっての重要度を考慮して、抽出された課題を評価
- ③重要課題の特定

課題の評価結果に基づき、経営会議での議論を経て重要課題を特定

ESG経営基本方針	
東亜建設工業グループは、E(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)に関する社会的責任を果たし、持続的な企業価値向上を実現するためのESG経営を推進し、SDGsに貢献します。	
東亜らしい3つの社会価値の創造	
E	1 持続可能な自然環境のために環境負荷を低減する 施工および当社保有技術を通じて、温暖化対策および生物環境の保護などに貢献します
S	2 高度な技術により人々の「安心な生活」を支える 高度な建設技術により、持続可能性の高いインフラ整備、防災対策、快適な都市環境整備に貢献します
S	3 社会、社員との信頼を守る企業であり続ける 高度なガバナンス体制を構築することなどで、社員が安心して働くことができ、社会からも信頼される企業であることにより、社会的責任を果たします



東亜ESG／SDGs行動計画			
重要課題(マテリアリティ)の解決のための行動計画を設定しました。			
ESG	重要課題	行動計画	SDGs
E	環境負荷の低減	- 洋上風力発電の施工を通じた再生可能エネルギー事業の普及への貢献 - ブルーカーボンに資する干潟・藻場の保全・造成技術の開発 - CO₂の発生低減、回収・利用技術の開発 - 生物共生護岸の活用による生物多様性の保全への貢献 - 海洋(海中・海底)に存在するマイクロプラスチックの分離回収技術の開発	7 クリーンエネルギーに力をつける 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
	建設廃棄物の削減と再利用促進	- 建設発土生の有効利用技術の活用促進 - 木材の利用技術(大規模木造技術)による循環社会への貢献 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進	11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を
	環境に配慮した施工	- 二重管トレミー工法等の活用による海洋の環境保全、生態系保護への貢献 - 粉じんや臭気等の対策技術の活用による周辺への環境上の悪影響の軽減 - CO₂排出量低減型の建設機械・工法の採用 - 混合廃棄物排出量の削減 - 環境マネジメントシステムの徹底	14 海の豊かさを守ろう
S	インフラ整備を通じた社会への貢献と共生	- 災害から暮らしを守るための恒久的、持続可能性の高いインフラ整備への貢献 - 高度な建設技術、リニューアル技術による快適な都市環境の整備への貢献 - 開発途上国の生活向上のためのインフラ開発・整備への貢献 - 海外の現地資材を用いた建設等によるインフラ整備の推進 - 本業に資する社会貢献活動への参画	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを
	品質の確保・向上	- ICTや新技術の活用による施工および施工管理の高度化の推進 - 品質マネジメントシステムの徹底	
	顧客満足の追求	- ICTやBIM/CIM等による建設の無人化、省力化、合理化の推進 - 安全・品質・工程管理に基づく誠実な施工の推進	
	労働安全衛生の確保	- 労働安全衛生マネジメントシステムの徹底 - 安全をすべてに優先することによる労働災害・公衆災害の撲滅	
	多様な人材の育成と活躍推進	- 全世代を通じたセミオーダー型育成プログラム等による学習機会の提供 - 担い手確保のための協力会社との協働による教育プログラムの推進 - 女性社員のライフプランを支援する就業環境整備による活躍支援 - 外国人社員の教育・人事制度等の就業環境整備による活躍支援	
	働き活きと誇りをもって働ける職場環境の構築	- 働き方改革による社員の充実した職業生活とプライベートの両立の支援 - 協力会社との協働による優良技能者の働きがい向上の推進 - 先端技術を活用した建設の合理化等の推進による人に優しい建設現場の構築 - 社内コミュニケーションの活性化	
G	ガバナンスの強化	- 信頼回復のためのコーポレートガバナンス体制の構築(再発防止に向けた継続的な取り組み) - 東亜建設工業グループの内部統制の有効性維持・向上	8 働きがいも経済成長も
	リスクマネジメントの強化	- BCMの充実 - 情報セキュリティ管理の徹底	16 平和と公正をすべての人に
	コンプライアンスの徹底	- 重大な法令違反ゼロの実現 - パワーハラスメント・ゼロの実現 - 企業行動規範に基づく、法令等の遵守と公正かつ誠実な企業活動の実践 - コンプライアンス教育の充実・強化 - 施工不良問題に対する社員の意識の風化防止	